

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 児童通所支援事業所りらく友丘

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				建物の2階を静の活動、3階を動の活動と分け支援の提供を行っています。
	2 職員の配置数は適切である	○				定員10名に対し6~7名の人員配置を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			階段が多いため、手すりや滑り止めを設置しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				ミーティングにて情報共有を行っています。参加できない職員には連絡ノートを作成し情報共有を行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				年に1度実施し、保護者様からのご意見をすぐに業務の改善へとつなげています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				本部のホームページに掲載を行っています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		外部評価は、受けておりません。今後外部評価を取り入れていくよう検討しています。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				事業所の内外で研修を行っており、職員が自主的に参加しています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				見学時に聞き取りを行い、計画書に組み込んでいます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				個人調査票を使い情報を得ています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○				学習、運動など担当があり、1人1人に合ったプログラムの作成を行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				毎週屋外に出かけるなど行っています。また買い物支援等積極的に行っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				お1人お1人にスケジュールを作成し、課題に取り組んでいます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				1人1人の目標を職員が認識して支援を提供しています。また集団活動の場合も同じように支援提供を行っています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				連絡ノートなどを使い、全スタッフが把握できるようにしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				当日支援にあたった職員全員で話し合いを行い、記録を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				その日かかわった職員全員が記録を行っています。必要な場合は、すぐにミーティングを行い改善に努めています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				年に1度は必ず行っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				室内、屋外と様々な支援を組み合わせ提供しています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○				職員の意見をまとめ、管理者が出席し報告 を行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている		○			学校によっては、情報共有が直接できな いところもあるので、相談支援員を通し 情報共有を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れ る場合は、子どもの主治医等と連絡体制 を整えている			○		事例がありませんが、今後検討を行っ ていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等 との間で情報共有と相互理解に努めて いる		○			相談支援員を通し、情報共有を行って います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ 移行する場合、それまでの支援内容等 の情報を提供する等している	○				1人1人のアセスメントシートを作成し お渡ししています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支 援センター等の専門機関と連携し、助 言や研修を受けている	○				月1回の研修などに職員も積極的に参 加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会が ある		○			屋外活動先で一緒に活動する事があり ますが定期的ではありません。今後検 討を行っていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参 加している			○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの発達の状況や課題につ いて共通理解を持っている	○				送迎時に保護者様に直接お伝えしたり 、連絡帳を使用し共通理解を図って います。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から 、保護者に対してペアレント・トレー ニング等の支援を行っている	○				利用日とは別にご家庭に伺い、家族 支援を行っています。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	○				契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支 援を行っている	○				送迎時や電話連絡など行いお話を伺 うようにしています。必要時には家 庭訪問などを行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者 会等を開催する等により、保護者同 士の連携を支援している		○			事業所内での保護者会など行って いきたいと検討しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備するとともに、子 どもや保護者に周知し、苦情があっ た場合に迅速かつ適切に対応してい る	○				苦情相談窓口を開設しています。また 職員が伺ってきた苦情には、すぐ に管理者が対応するようにしてい ます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報を子 どもや保護者に対して発信している			○		今後お知らせを配布していく予定 です。
	35	個人情報に十分注意している	○				保護者様に個人情報についての同意 書を頂いており、その範囲内で掲 示などを行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意 思の疎通や情報伝達のための配慮 をしている	○				構造化を行い、物を置く場所など を視覚的に表出しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する 等地域に開かれた事業運営を図って いる	○				コロナ感染症の感染防止のため交 流は行っていません。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				マニュアルごとに管理を行い、ミーティングで全職員への周知を行っています。保護者様にもご報告を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				2ヶ月に1度避難訓練を行っています。また避難場所を全保護者様にお知らせとして周知しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				内外の研修を受けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				保護者様に説明し同意を頂いています。また事案が起きた場合は、保護者様へと報告を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○			医師から直接の指導はありませんが、保護者様を介して情報を得ています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				ファイルを作り保管しています。またミーティングを行い、全職員の周知に努めています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 児童通所支援事業所 りらく友丘

保護者等数(児童数) 30名 回収数 16枚 割合 50%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	4			しっかり体を動かして くるので満足している。		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	4		1	顔写真付きのスタッフ 一覧をまた出して ほしい。	今後作成し、配布さ せて頂きます。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3		3			
適切 な支 援の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16				丁寧で作成してもら い、詳しく説明をして もらった。		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13			3			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	5	5			
保 護 者 へ の 説 明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16				毎回わかりやすく説 明してくれる。		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	2					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	4					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			3	10	3	コロナでできないが、 落ち着いたら行って ほしい。	検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12				4		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1					
	13 定期的に広報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2	3		1		
14 個人情報に十分注意しているか	13				3			
非 常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	3			5	連絡帳に避難場所が 貼ってあるのでわか りやすい。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12				4		2か月に1度避難訓 練を行っています。
満 足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16				すごく楽しそう。		
	18 事業所の支援に満足しているか	16				たくさんお世話にな り感謝している。		

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。